

個人投資家様向け 会社説明会



カンダホールディングス株式会社

東京証券取引所市場第二部

証券コード：9059

平成27年12月9日

- 一、 私達は、物流を通じて社会の発展に貢献します。
- 一、 私達は、お客様に満足されるサービスを提供し、
お客様と共に繁栄します。
- 一、 私達は、研究と創造に努め、自己改革に挑戦します。
- 一、 私達は、和の精神を大切にし、
社員の生活向上を目指します。

目次

■ カンダグループの概要

会社概要	1
会社沿革	2
拠点ネットワーク	3

■ 事業の概要

事業の特徴	4
物流サービスの概要	5
取扱品目別売上高	6
事業戦略（国内部門）	7
事業戦略（国際部門）	8



■ 平成27年3月期 及び 平成28年3月期 第2四半期 決算概要

連結業績推移（売上高）	9
連結業績推移（損益）	10
平成28年3月期第2四半期連結業績	11

■ 株価と配当推移

株価推移	12
株価指標推移	13
配当推移	14

■ トピックス

包括的業務提携	15
障害者雇用支援事業	16
社会貢献事業	17
環境への取り組み	18
安全と品質への取り組み	19

カンダグループの概要

商号	カンダホールディングス株式会社
本店	〒101-0061 東京都千代田区東神田3-1-13
本社事務所	〒115-0051 東京都北区浮間4-22-1 PRO-1浮間5階
創業	昭和18年11月
代表者	代表取締役社長 勝又 一俊
資本金	17億7,278万4千円
事業内容	グループ全体の事業活動を統括・管理する
従業員数	連結：1,910名（平成27年9月末日現在）
グループ会社	24社（平成27年11月末日現在）
上場区分	東京証券取引所市場第二部
証券コード	9059



「日本物流ネットワーク協会」
Japan Logistics Network Association

昭和18年：発足

自動車交通事業法により東京都神田区内の全運送会社16社が一括統合され発足する

昭和19年：神田運送(株)設立

神田運送株式会社設立 本社：東京都神田区佐久間町 資本金：230万円

昭和20年代：定期路線網の構築

昭和38年：出版物共配開始

当社の呼びかけで全国への出版物流を共同配送化し実施

平成3年：カンダコーポレーション(株)へ社名変更

平成6年：日本証券業協会に株式を店頭登録

平成16年：東京証券取引所市場第二部へ株式上場

平成21年：持株会社体制へ移行

商号を「カンダホールディングス株式会社」に変更

平成23年：国際宅配部門の事業譲受により

「株式会社ペガサスグローバルエクスプレス」業務開始

海外現地法人として「PGEタイ」・「PGE上海駐在員事務所」を設立

平成24年：「カンダ物流株式会社」発足、北関東5拠点を統合
「(株)ハーバーマネジメント」(現PGE)、「(株)ジェイピーエル」をグループ化

平成25年：蓮田・南東北・久喜にて太陽光発電事業開始

平成26年：「カンダハーティサービス株式会社」を設立
ニュースターライン(株)・ベルトランス(株)をグループ化

平成27年：海外現地法人として「PGEインドネシア」を設立
物流4社による包括的業務提携契約を締結し、

「日本物流ネットワーク協会」(「JLNA」)発足

国際物流へ進出

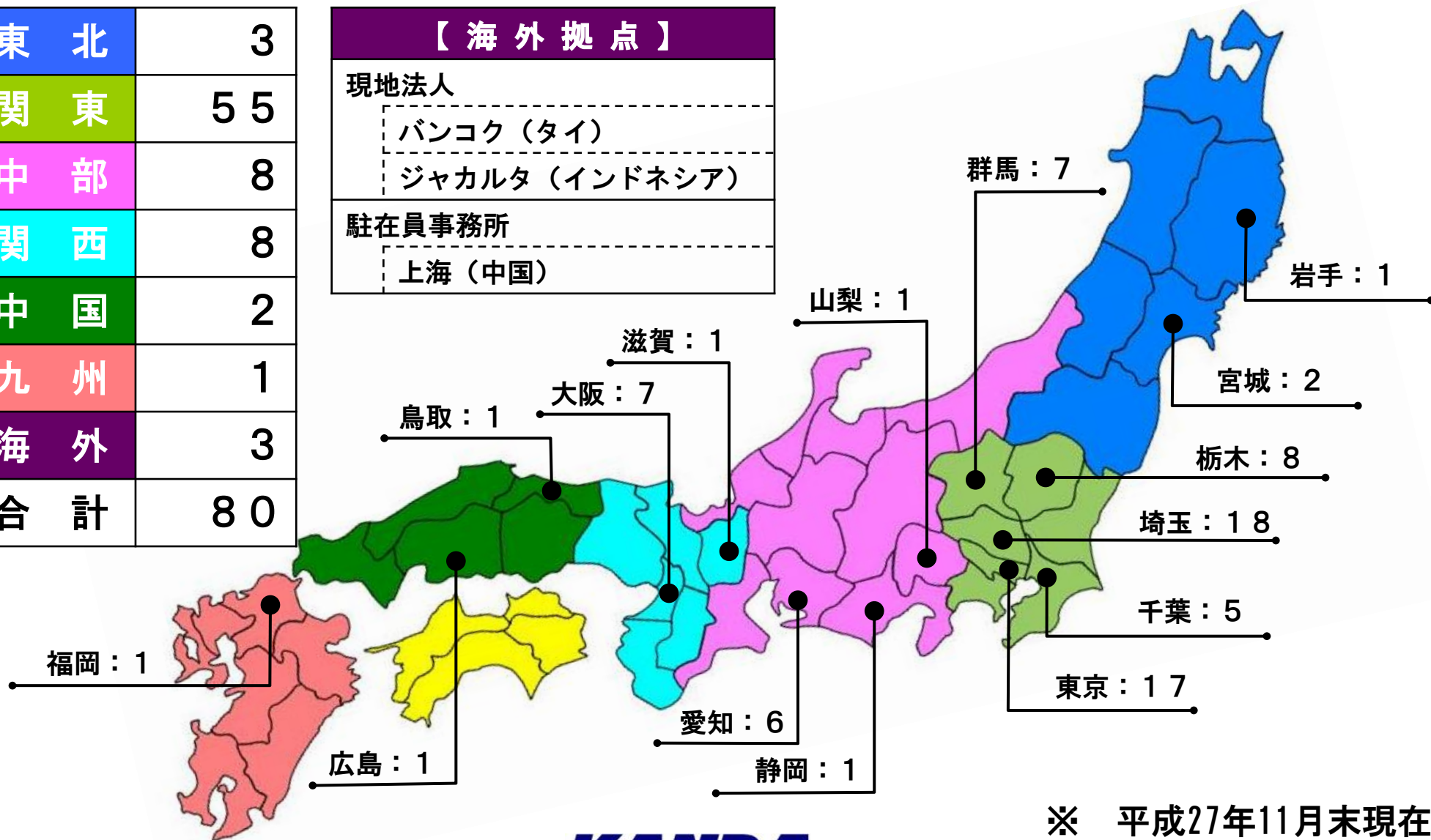
運送業から物流業へ



■ エリア別事業拠点数

東北	3
関東	55
中部	8
関西	8
中国	2
九州	1
海外	3
合計	80

【海外拠点】	
現地法人	
バンコク (タイ)	
ジャカルタ (インドネシア)	
駐在員事務所	
上海 (中国)	



※ 平成27年11月末現在

事業の概要

■ カンダグループの4つの強み

- 1 多種多様な物流サービスを提供できる機能
- 2 3,500社に及ぶお客様との取引に支えられた裾野の広さ
- 3 1つの業種・業態、企業に偏らない幅広い営業基盤
- 4 国内外を一気通貫で結ぶ国際物流ネットワーク

物流センター
(保管型)



物流センター
(通過型)



データ
センター



共同配送



引越し



警備輸送
(集配金)



廃棄物
収集運搬



機密文書
保管



カンダグループでは、

3,500社 にも及ぶあらゆる業態のお客様に、

多種多様な物流サービスを御提供しております。

物流センター

輸配送サービス

介護・介助
輸送



流通加工



WMS



KANDA グループ

建築資材
運搬



バイク便



社内メール
サービス



航空宅配



航空輸送



海上輸送



海外赴任
コンシュルジュ



現地法人

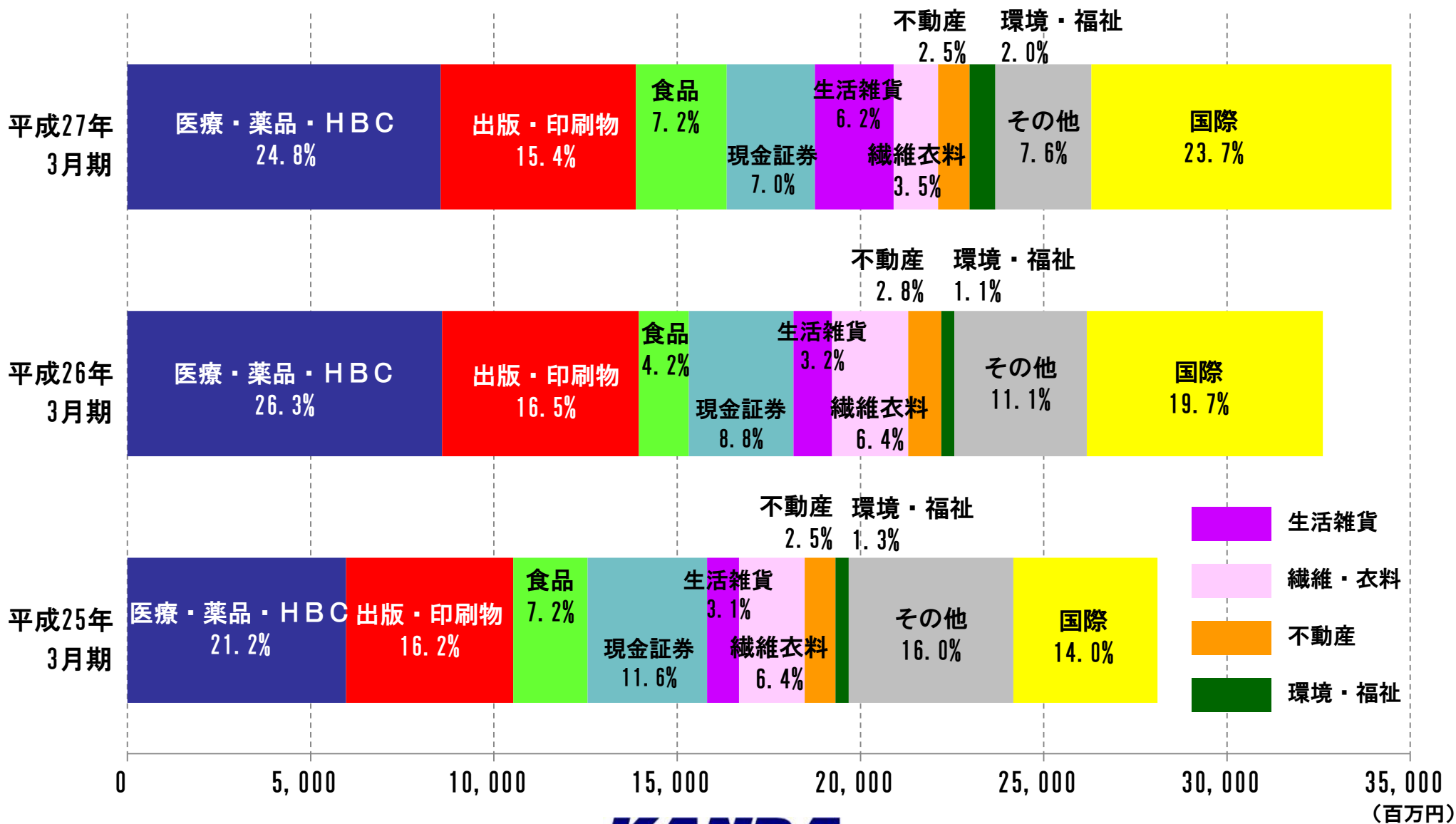


化学薬品
輸送



国際物流

■ 取扱品目別売上高と構成比率



■ 3 P L 事業

対象事業	重点戦略
医薬品	川下・中間流通より川上へ、物流対応領域の拡充と深耕
ドラッグストア	東名阪の既存拠点に加え、他エリアへのサービス展開に向けた全国ネットワークの構築
食品	顧客密着型で培ってきたノウハウを活かした拡販

■ 輸配送事業

対象事業	重点戦略
出版物	共同配送提案による配送エリア・市場占有率の拡大
現金・貴重品	最適釣銭配金システム「CASHNET」による、トータルキャッシュマネジメントの提案推進

■ 国際事業

対象事業	重点戦略
国際宅配便	中国向け越境EC需要に対応した新宅配サービスの拡販 営業拠点の新設による新規顧客の開拓と収益力強化
フォワーディング	自社保有の海外拠点活用とアライアンスの再構築
海外赴任者向け コンシュルジュ	WEB受注によるサービス拡充と新規顧客の開拓

■ 海外事業

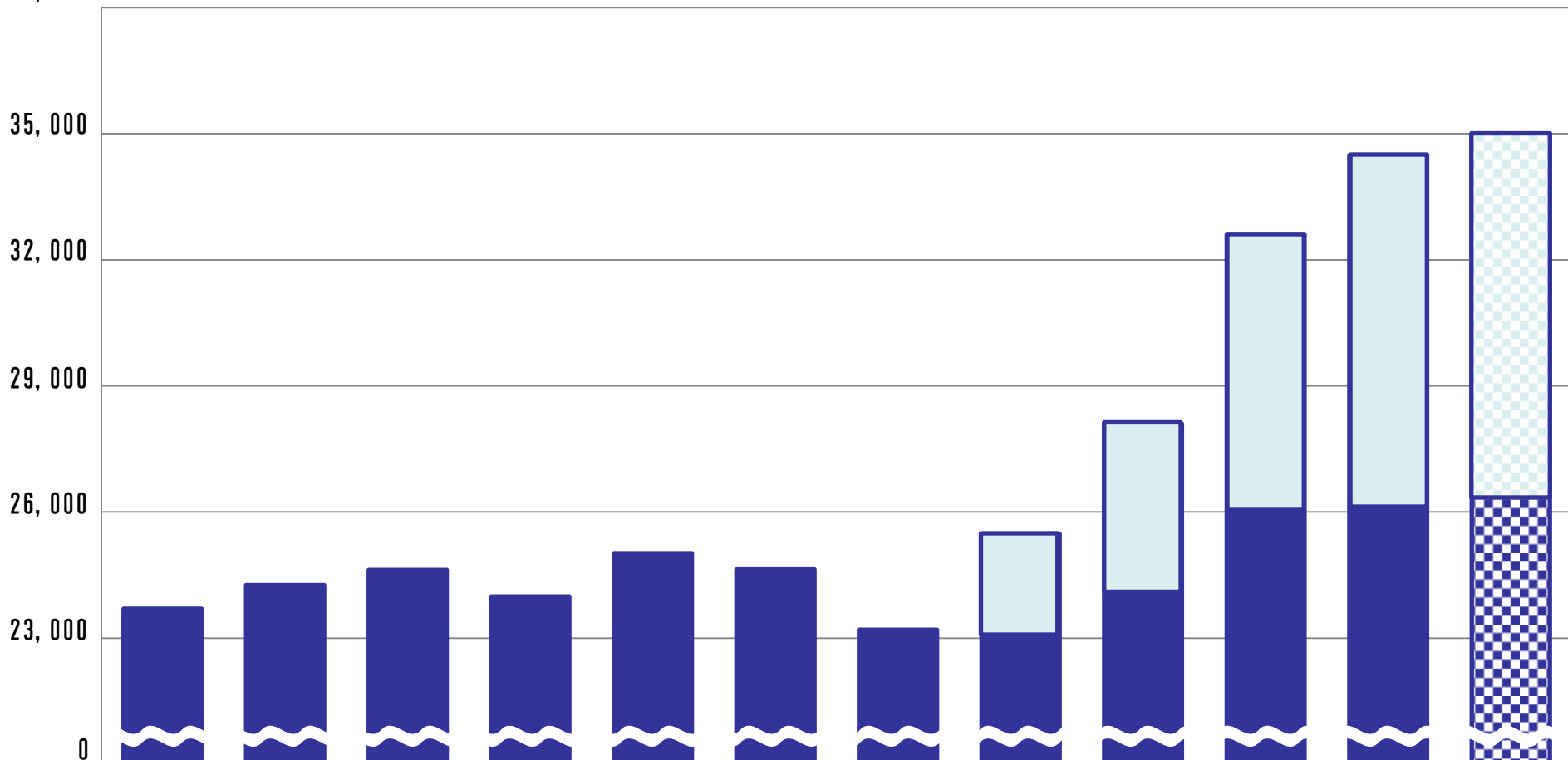
対象事業	重点戦略
既存現地法人 (タイ バンコク)	倉庫保管と配送機能の相互活用による収益力強化
現地法人の新設	インドネシア ジャカルタで現地法人を設立

平成 2 7 年 3 月 期
平成 2 8 年 3 月 期 第 2 四 半 期
決 算 概 要

■ 売上高推移

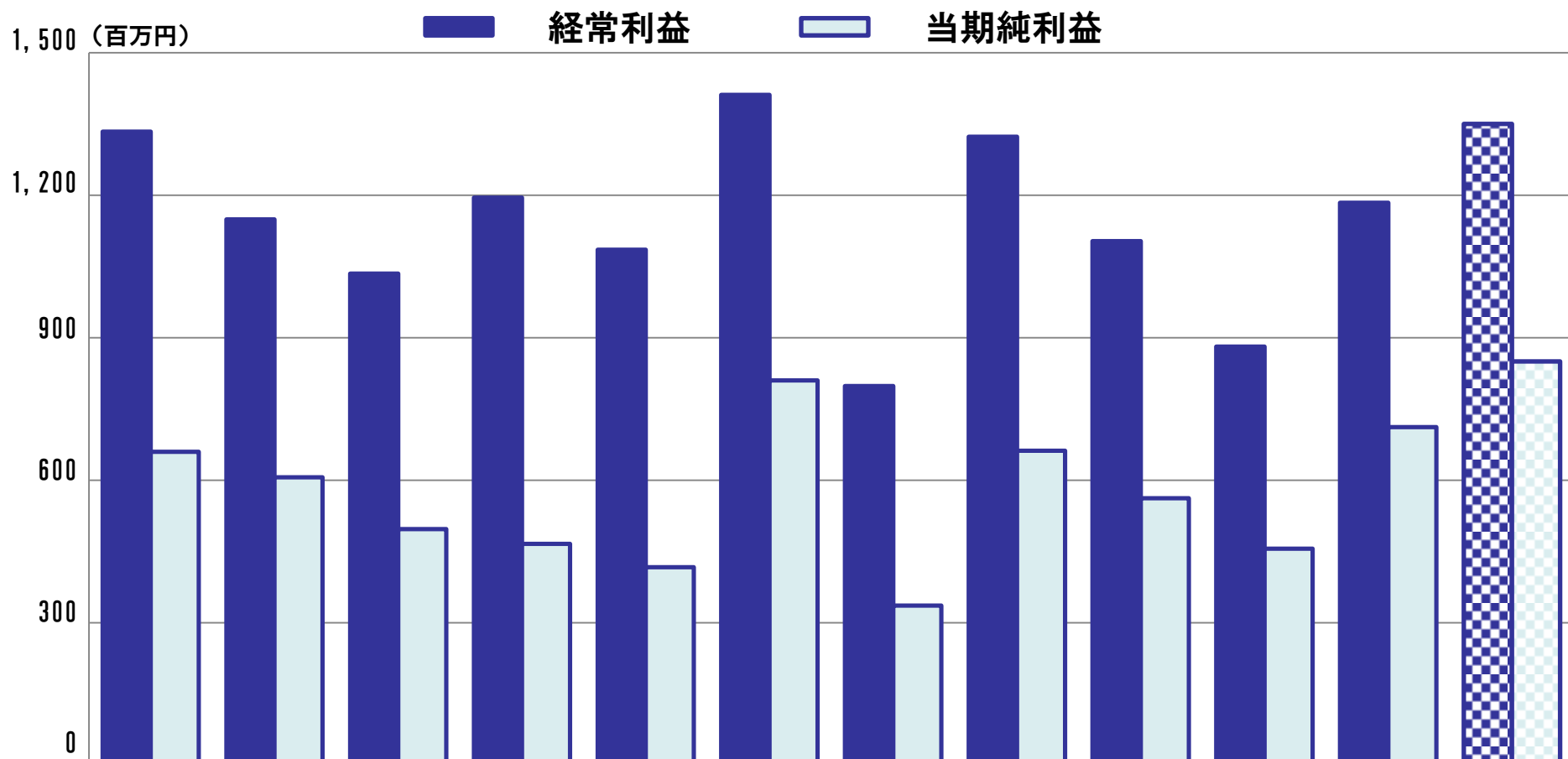
38,000 (百万円)

■ 国内部門 □ 国際部門



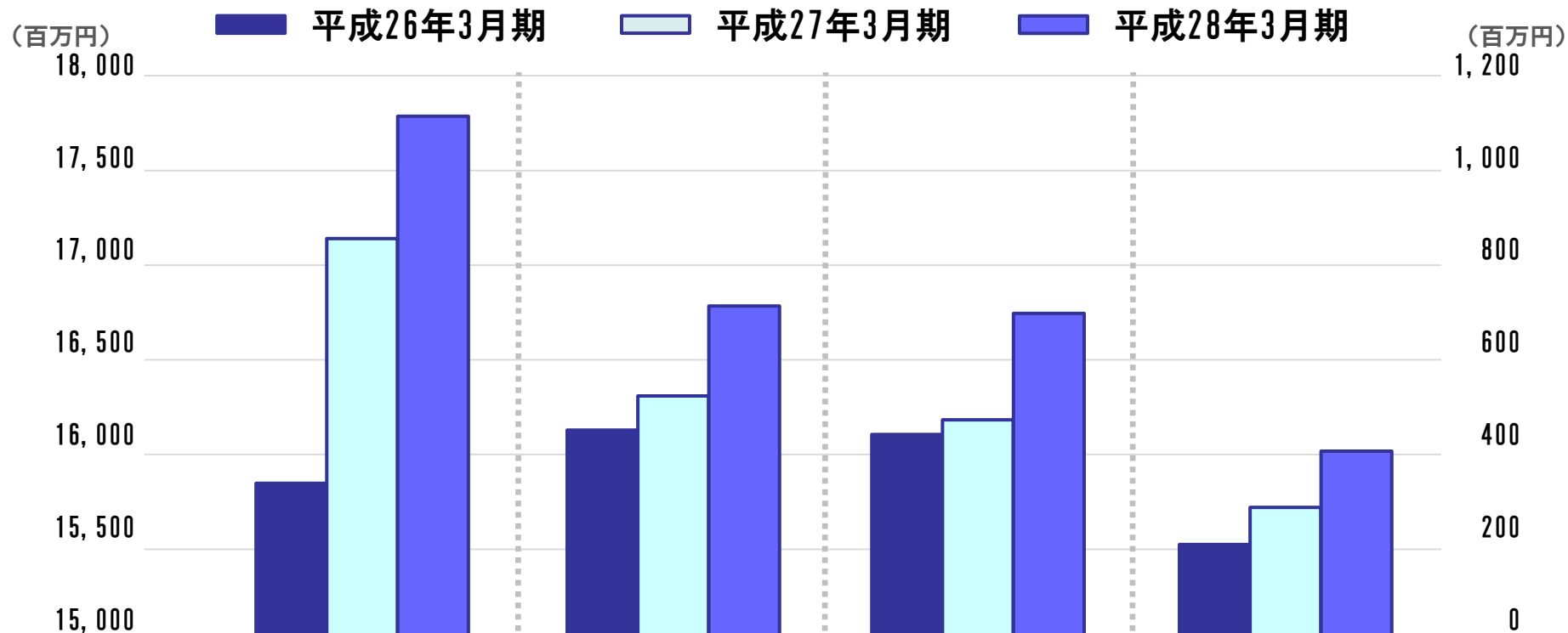
	H17/3	H18/3	H19/3	H20/3	H21/3	H22/3	H23/3	H24/3	H25/3	H26/3	H27/3	H28/3
売上高	23,701	24,265	24,623	23,993	25,019	24,639	23,198	25,483	28,104	32,612	34,490	35,000

■ 損益推移



	H17/3	H18/3	H19/3	H20/3	H21/3	H22/3	H23/3	H24/3	H25/3	H26/3	H27/3	H28/3
經常利益	1,334	1,149	1,035	1,195	1,085	1,411	798	1,323	1,103	881	1,184	1,350
当期純利益	660	606	497	466	417	810	336	662	562	456	712	850

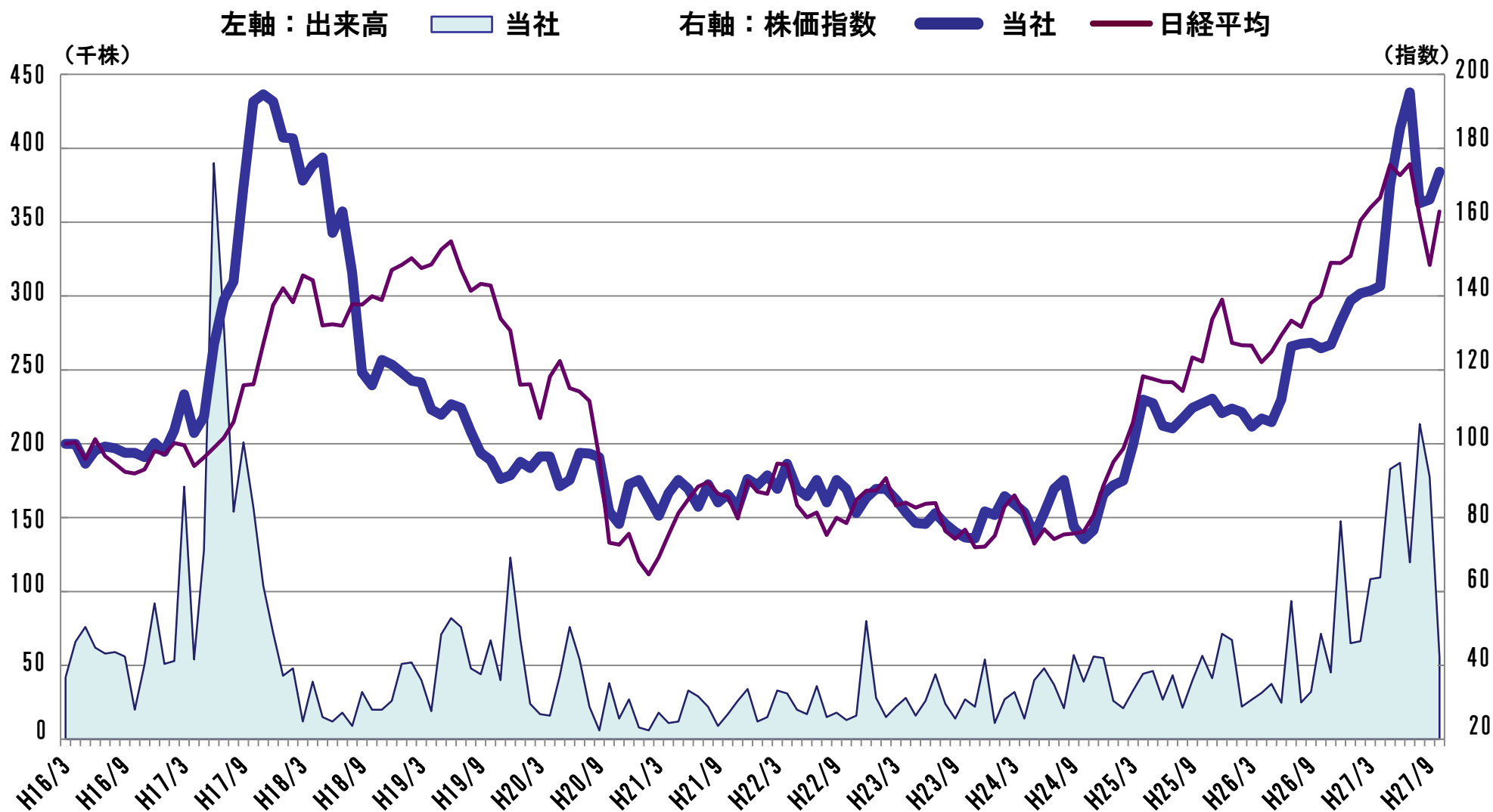
■ 営業実績



	売上高 (左軸)	営業利益 (右軸)	経常利益 (右軸)	純利益 (右軸)
平成26年3月期 第2四半期	15,821	469	461	212
平成27年3月期 第2四半期	17,134	511	484	247
平成28年3月期 第2四半期	17,819	708	701	408

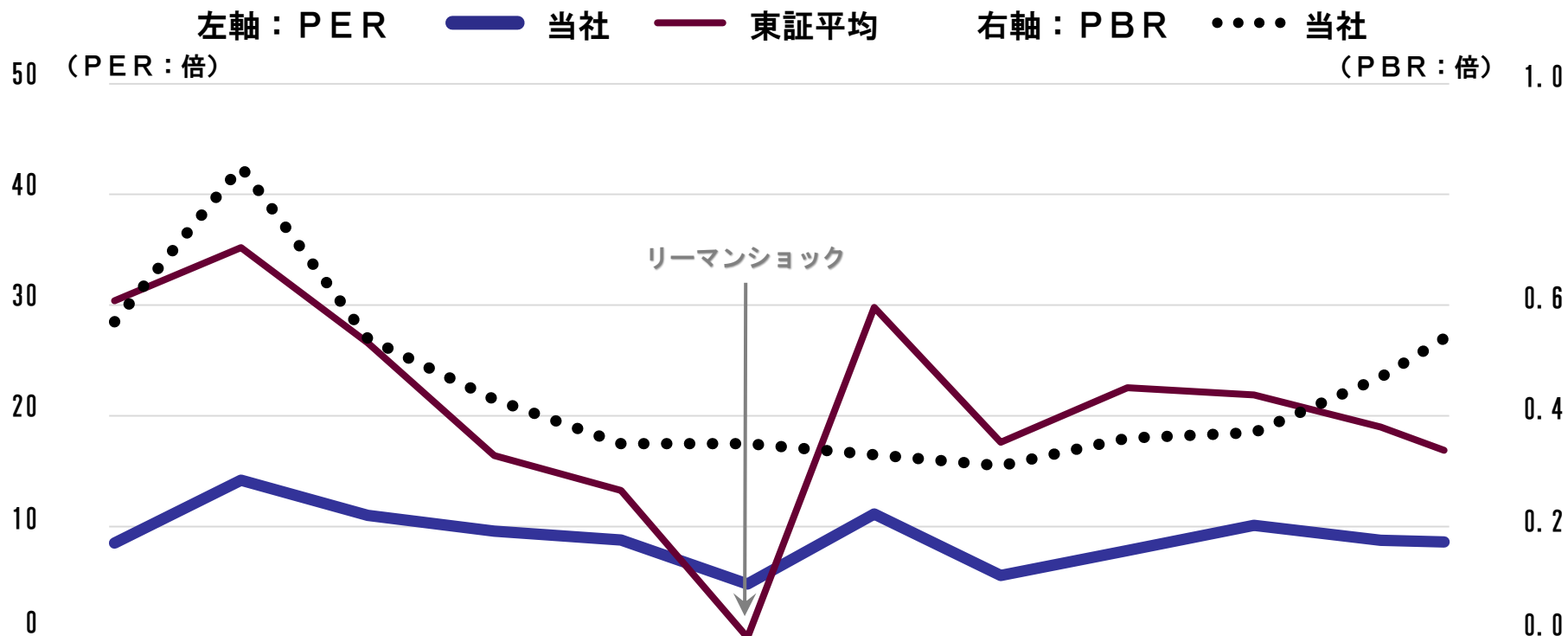
株 価 と 配 当 推 移

出来高・株価推移



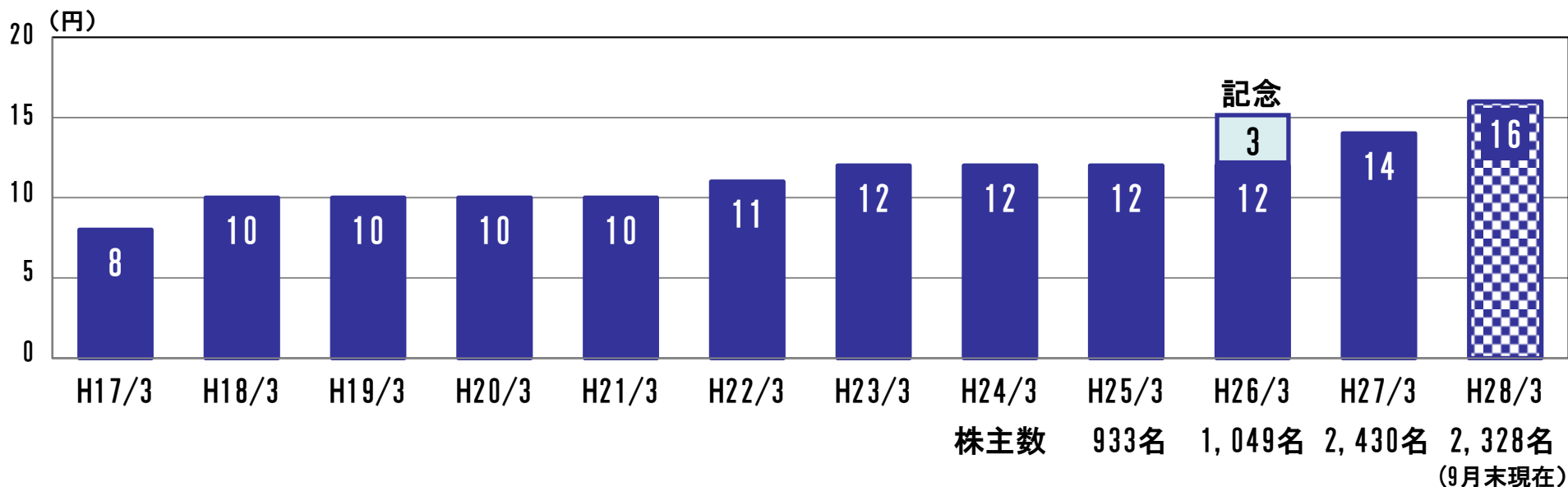
※ 指数は2004年（平成16年）3月度を100として算出しております。

■ PER・PBR 推移



	H17/3	H18/3	H19/3	H20/3	H21/3	H22/3	H23/3	H24/3	H25/3	H26/3	H27/3	H27/9
当社 PER	8.53	14.20	11.01	9.60	8.80	4.81	11.14	5.58	7.84	10.12	8.77	8.62
東証平均 PER	30.39	35.19	26.60	16.43	13.26	-	29.80	17.61	22.55	21.90	19.00	16.90
当社 PBR	0.57	0.85	0.54	0.43	0.35	0.35	0.33	0.31	0.36	0.37	0.47	0.54

■ 配当金推移



■ 株主優待制度

保有株式数	株主優待	枚数
100株 以上 1,000株 未満	QUOカード 500円	1 枚
1,000株 以上 3,000株 未満	図書カード 1000円	1 枚
3,000株 以上 5,000株 未満	図書カード 1000円	2 枚
5,000株 以上	図書カード 1000円	3 枚

■ 配当利回り

【配当利回り計算】

単元株100株を、株価783円で購入頂くと ...
(2015年11月30日終値)

配当 1,600円、株主優待 500円
実質配当金額は2,100円

配当利回り 2.7%

トピックス

■ 日本物流ネットワーク協力会 JLNA (Japan Logistics Network Association)

平成27年2月16日、カンダホールディングス株式会社、高末株式会社、東部ネットワーク株式会社、株式会社ヒガシトゥエンティワンの4社は、包括的業務提携を締結し「日本物流ネットワーク協力会」（「JLNA」）を発足させました。

物流ニーズの高度化

総合化／広域化／サービスレベル向上

荷主企業

グループ化・大型化

全国化・グローバル化

市場の寡占化



カンダホールディングス(東京)

高末(名古屋)

東部ネットワーク(横浜)

ヒガシトゥエンティワン(大阪)

輸送モード拡大／物流商品拡充／サービス向上

サービスエリア・
事業領域の拡大

■ 特例子会社（カンダハーティーサービス）

カンダグループでは、障害を持つ方々に安心して就労できる職場環境を確保するため「カンダハーティーサービス株式会社」を設立致しました。

今年度、特例子会社認定を申請しており、引き続きより多くの障害者の方に就労頂ける環境を提供すべく、グループ内に留まらず業務の拡張を目指しております。

また、職場体験実習も行っており、就労を目指す方の支援を行っております。



■ 無償奉仕活動（ボランティア）

カンダグループでは様々な支援活動を行っています。

毎年、全国の児童養護施設へ児童書など「書籍」の

配送を無償で行っております。

また、特定非営利活動法人 I S A P H（アイサップ）が計画・主催する「ラオス母子保健プロジェクト」に協力し寄生虫感染予防の為の「靴」を、ラオスの裸足の子供達へ無償で配送致しました。

（輸送貨物の現地到着時写真）



（感謝状）

■ 太陽光発電（再生可能エネルギー）

カンダグループでは、自社保有物流センターの遊休面積である屋上部分にソーラーパネルを設置して、太陽光発電事業を行い、再生エネルギーの推進により、電力不足や地球温暖化の問題に貢献していききたいと考えております。



（久喜物流センター）



（蓮田物流センター）



（南東北物流センター）

※ 発電量：一般家庭約440世帯分

※ 年間CO2削減量：約660トン

施設名称	南東北 物流センター	蓮田 物流センター	久喜 物流センター	合計
設置場所	宮城県名取市	埼玉県蓮田市	埼玉県久喜市	
屋根面積 (㎡)	11,426	8,883	15,708	36,017
月間発電量 (KWh)	61,417	24,942	83,192	169,551

■ 安全への取り組み

- ※ 運行管理者・セーフティーアドバイザーなどへの各種研修会を開催しています。
- ※ 技術教育訓練学校（自社保有）を活用した乗務員への実技指導を実施しています。
- ※ 事故撲滅対策委員会による営業所の巡回と巡察パトロール指導を実施しています。



■ 品質改善活動

カンダグループでは、平成7年より「ダッシュ21」と呼ぶQC活動を、全職場・全従業員参加を基本として20年間に渡り継続して実施しています。各職場での成果発表に加え、各職場より選抜されたサークルによる事例発表大会も毎年開催し、相互啓発に寄与しています。今年度は、160超のサークル、従業員1,500名超が、作業品質の改善や生産性の向上などのテーマに沿って、活動に取り組んでいます。



20周年
新たな気持ちでスタートダッシュ!
挑戦はまだまだ続く

第20回
ダッシュ21
7月1日 Kick Off

【活動重点項目】

- ①目標は必ず数値化して設定する。
- ②活動ステップの手順を守る。
- ③推進担当者・支援者は活動へ関与する。

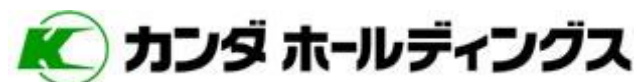
KANDAグループ ダッシュ21中央推進委員会

当資料は、投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資への勧誘を目的としたものではありません。

記載されている内容は、資料作成時点の当社の判断に基づくものであります。

従いまして、将来の計画数値や施策の実現等の記載された内容を確認したり保証するものではなく、実際の業績は当社を取巻く様々なリスク及び不確実性により、これら見通しとは異なる結果をもたらすことがあることをご承知おきください。

また、本資料に記載されている当社及び当社グループ以外の企業等にかかわる情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社はこれを保証するものではありません。



お問合せ先：カンダホールディングス株式会社 総務部株式課

電話 03-6327-1811（代） F A X 03-6327-1800

ホームページ： <http://www.kanda-web.co.jp/>

e-mail： hd-soumu@kanda-web.co.jp